

温泉地名 蔵王温泉

利用施設名 蔵王ロッジ・スガノ

採水位置 山形市蔵王温泉字荒敷862の内1

泉質 酸性含鉄硫酸アルミニウム硫酸塩塩化物温泉

(旧泉質名 含硫化水素強酸性明ばく緑ばく泉)

温泉利用の注意(浴用)

効果的で安全な温泉入浴のため、次の事項をよく読んで入浴してください。

適応症及び禁忌症

この温泉は、次のような適応症がありますが、禁忌症もありますので、その場合は入浴を控えてください。

(1) 適応症(温泉が効く疾患及び症状)

きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、
慢性婦人病、月経障害、糖尿病、高血圧症、
動脈硬化症、神経痛、筋肉痛、関節痛、
五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、
くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、
病後回復期、疲労回復、健康増進

(2) 禁忌症(入浴を控えた方がよい疾患及び症状)

皮膚、粘膜の過敏な人、特に老線過敏症の人、
高齢者の皮膚乾燥症、急性疾患(特に熱のある場合)、
活動性の結核、悪性腫瘍、重く心臓病、呼吸不全、
腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢
進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

入浴の心得

- 温泉療養の場合は、1日当りの入浴回数を初め数日間
は1回程度とし、その後2ないし3回まで増やしてくだ
さい。
- 温泉療養は、2ないし3週間にわたるのが適当です。
- 数日後、湯あたり(湯さわ)が現われた場合は、入
浴を中止したり回数を減らし回復を待ってください。
- 入浴する場合は、次のことに十分注意をしてください。
○入浴時間は、初め3分から10分程度とし、慣れるにし
たがい延長する。
○入浴中は、運動浴を除き一般に安静にする。
○入浴後は、身体に付着した温泉成分は洗い流さない。
(ただし、湯ただれを起こしやすい人は、真水で洗う
か拭き取る。また、強塩泉及び酸性泉は、真水で洗い
流す。)
○入浴後は、湯ざめには注意し、一定時間安静にする。
○高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の場合は、原
則として高温浴(温度42℃以上)は避ける。
○熱い湯に急に入るとめまい等を起こす恐れがある。
○食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避ける。

平成2年12月/日

山形県

(作成 社団法人山形県温泉協会)

含有成分

温度	44.2℃(分析時の温度)		
蒸発残留物	1990 mg/kg	水素イオン濃度(pH)	1.55
試料1kg中の成分の分量			
(1)陽イオン	ミリグラム (mg)	(2)陰イオン	ミリグラム (mg)
水素イオン(H ⁺)	28.1	フッ素イオン(F ⁻)	15.2
リチウムイオン(Li ⁺)		塩素イオン(Cl ⁻)	472.1
ナトリウムイオン(Na ⁺)	34.9	臭素イオン(Br ⁻)	1.8
カリウムイオン(K ⁺)	27.4	ヨウ素イオン(I ⁻)	0.2
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	35.9	水酸イオン(OH ⁻)	
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	78.7	硫化水素イオン(HS ⁻)	
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	158.8	硫酸水素イオン(HSO ₄ ⁻)	130.3
マンガンイオン(Mn ²⁺)	1.7	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	138.2
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	43.0	リン酸二水素イオン(H ₂ PO ₄ ⁻)	
		リン酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	
		炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	
		炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	
(3)遊離成分			
①非解離成分	ミリグラム (mg)	②溶存ガス成分	ミリグラム (mg)
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	197.1	遊離二酸化炭素(CO ₂)	618.0
メタホウ酸(HBO ₂)	7.1	遊離硫化水素(H ₂ S)	10.2
メタ亜ヒ酸(H ₂ AsO ₃)			
(4)その他の微量成分			

分析年月日 平成2年8月6日

分析機関 山形県衛生研究所

使用源泉名 緑屋1号源泉